

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果概要と岡上小学校における今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。本年度は、

- 生きる力の育成、確かな学力・豊かな人間性・健康体力を培う（つよい子）
- より良く生きる基盤となる道徳性を培う（正しい子）
- 豊かな情操と心の通う対人交流の能力を培う（ほがらかな子）

の3点を学校教育目標とし

- ・主体的な学び合いと習得・活用・探究を通した質の高い学習の実践
- ・人と地域と自然とに主体的に関わり、その良さを生かす学習の推進
- ・人権と多様性を認め、尊重することを基にした学習、児童理解と支援の推進

を学校経営方針として日々の教育活動に取り組んでおります。

このたび、5月27日（木）に6年生を対象に実施されました全国学力・学習調査の結果内容を、本校の学校目標ならびに学校経営方針を踏まえ、学校づくりに生かす視点から分析を行いましたので、今後の取組について報告いたします。なお、本調査によって測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校教育活動の一側面であることが調査の実施要領に示されております。したがって、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標とお考えいただきたいと存じます。

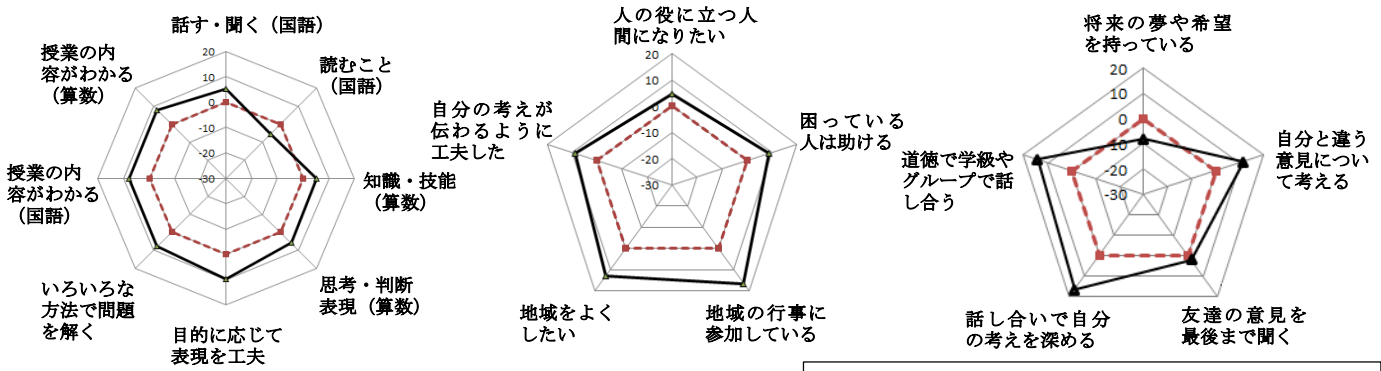
今後とも児童一人一人に寄り添った教育活動の推進に努めてまいりたいと考えております。

1 調査結果概要

主体的な学び合いと習得・活用・探究を通した質の高い学習の実践

人と地域と自然とに主体的に関わり、その良さを生かす学習の推進

人権と多様性を認め、尊重することを基にした学習、児童理解と支援の推進



全国の結果を0とし、全国と本校の差を示したグラフです

2 調査結果をもとにした今後の取組

結果の概要 分析 課題 今後の取組

※表示している数値・・・「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計、()は全国の数値

(1) 「主体的な学び合いと習得・活用・探究を通した質の高い学習の実践」の調査結果

【これまでの課題に対する学校の取組】

これまでは言語についての知識・理解・技能の定着に課題がありました。また、相手にわかりやすく伝えるための記述、自分の考えを明確に表現するなど書く力の定着にも課題があり、授業の進め方、友達との意見交流のさせ方などの工夫を通して日常的に学力の向上に取り組み全国平均を目指します。

<p>①話す・聞く (国語) 82.9%(77.8%)</p> <p>②思考・判断・表現 (算数) 71.1% (65.1%)</p> <p>③目的に応じて表現を工夫 81.4%(71.6%)</p> <p>①思考・判断・表現 (国語) 59.9%(62.1%)</p> <p>②読むこと 41.9%(47.2%)</p>	<p>①表現を工夫する意識は9.8ポイント全国を上回りました、国語では話す・聞く力が全国と比べ5.1ポイント上回りました。国語をはじめ各教科で伝えることを意識し、言葉を大切に学習を行ってきた成果と捉えています。</p> <p>②算数では知識・技能が5.2ポイント、思考・判断・表現が6.0ポイント全国を上回りました。いろいろな方法で問題を解くことに楽しさを見つける子の割合も全国と比べても多く、校内研究等を通した授業改善の成果と捉えています。</p>
---	---

①②国語の話すこと・聞くことについての力については、知識・技能、思考・判断・表現とも全国を下回りました。正確な言葉や漢字を使った表現力、文章内容を正確に読み取る力などの定着が今後の課題と考えます

短時間での反復学習や宿題を活用し、漢字の書き取りなどの基礎的な学力をつけ、知識・技能の数値が全国平均に近づくよう努めます。

読む力については、学校の読書活動の充実や意見交流の場を各教科で積極的に取り入れるなど学習方法を工夫することで今年度より3ポイントの上昇を目指します。

(2) 「人と地域と自然とに主体的に関わり、その良さを生かす学習の推進」

(3) 「人権と多様性を認め、尊重することを基にした学習、児童理解と支援の推進」の調査結果

【これまでの課題に対する学校の取組】 地域行事には積極的に参加できているので、そこから地域へ貢献したいという意欲へのつながりを考えた学習課程の工夫に努めます。また、「自分にはよいところがあると思う」という自己肯定感に課題がありました。自分を含め周りの人達の多様性を認めるためには、高い自己肯定感が必要になります。自己肯定感をさらに伸ばし自他ともに認められる児童の育成を目指します。

①地域の行事に参加

74.4%(58.1%)

②地域をよくしたい

65.1%(52.4%)

③話し合いで自分の考えを深める

95.4%(78.8%)

①将来の夢や目標がある

72.1%(80.3%)

① ②「地域の行事に参加している」が26.3ポイント、「地域をよくするために考えたことがある」が12.7ポイントと全国平均を大きく上回りました。地域とのかかわりを大切にした総合的な学習の時間の取り組みの成果と捉えています。

③「友達と話し合い、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」は全国平均より16.6ポイント高くなっています。人とのかかわりに関する質問には、ほぼ全国平均を上回っています。かかわりを大切にした学習や学校行事の工夫の成果と考えています。

①「将来の夢や目標を持っていますか」の回答は72.1%と全国平均を下回っており、今後さらなる取組が必要であると捉えております。人とのかかわりの上での人権の尊重、多様性を受け入れるためにも夢や目標を持ち自分自身を肯定的に受け止めること必要であり、今後の課題と捉えています。

地域の行事や地域の人々とのかかわり、友達を大切にする気持ち、多くの友達と分け隔てなく考えを交流する姿勢は全国平均と比べ、全般的に高くなっています。今後も、総合的な学習の時間などを通して、地域の方々とのかかわりが持てる学習過程の工夫、校内研究や職員研修などを活用して、子供たちが友達の立場を考え等しく交流できる授業の進め方など工夫を重ねてまいります。また、地域や地域の人々、友達とのかかわりを円滑にするためにも夢や目標を持つといった自己肯定感につながる感情を高めるために、一つひとつの学習活動を振り返り、自分自身の成長に目を向けられる学習方法の工夫などに努めます。

教育委員会から

「言葉」に重点をおき、学び合いや、つながり合い、支え合いなどを大切にした教育を展開しています。言葉を通して思いや考えを伝え合うこと、日常の授業において様々な学習形態による意見交流を取り入れてきたことにより、工夫して発表しようとする児童の意識が高まり、話し合いを通じて自分の考えに深まりや広がりを感じている児童が増えてきているものと捉えております。また、「人と地域と自然とに主体的に関わり、その良さを生かす学習」を推進し、地域の方々にもお力をいただきながら進めてきた総合的な学習の時間等の取組を通じ、子どもたちは地域についての学びを深め、自分の「ふるさと」である岡上を愛する心も着実に育まれています。 麻生区・教育担当